



(公社)千葉県建築士事務所協会 顧問  
田中 修一

# 公立小中学校・規模の推移

## 建築士は何を読み解くか

下表は文部科学省データおよび直近の雑誌日経アーキテクチャの特集記事を表にしたものである。

学校建築に携わる者として、この内容から何を学び取るか。今後の業務の指標としてほしい。

表1 公立小中学校の学校数・生徒数の推移

	1989年度(平成元年度)	2010年度(平成22年度)	2018年度(平成30年度)	2023年度(令和5年度)	差数
学校数(校)	35,186	31,695	29,012	28,015	△7,171校
生徒数(千人)	14,883	10,140	9,296	8,967	△5,916千人
生徒・人/学校	423人	320人	320人	320人	

34年間で生徒数が約60%に減少

(2003年迄は急激に落ち込んだが、それ以降は微減にとどまっている)

校舎数は約80%に減少

(2003年度までは現状規模だったが、それ以降は規模を縮小し続けている)

表2 公立小中学校校舎の建設単価の推移

	1989年度(平成元年度)	2010年度(平成22年度)	2024年度(令和6年度)	2025年度予測(令和7年度)
校舎単価千/㎡	151.6	151.6	296	354.1
校舎単価千/坪	500.3	500.3	977	1,168

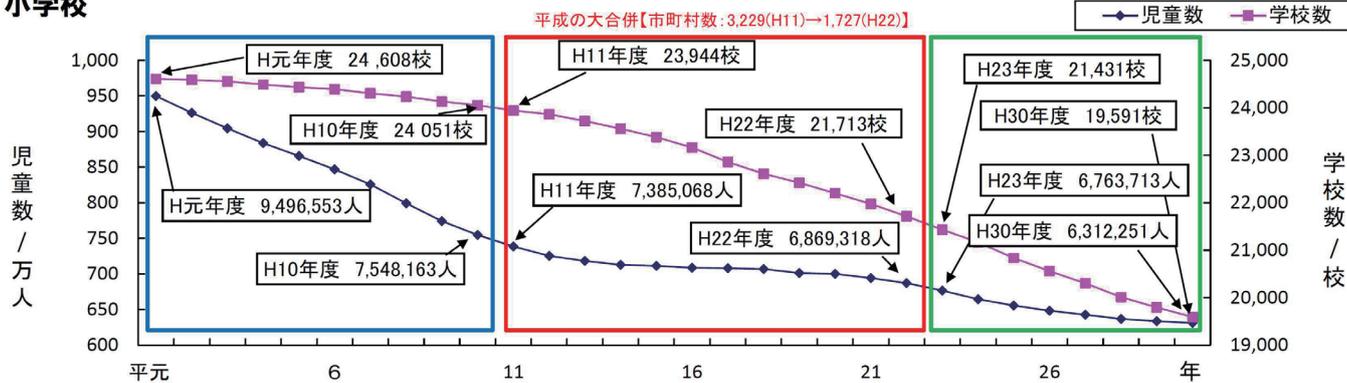
工事単価は1989~2013年度までは変わらず

2024年度は約100万円/坪 2025年度は約120万円/坪の時代となる(省エネ基準なども視野に)

## 公立小学校の数と児童数の推移

文部科学省 資料

### 小学校



## 公立中学校の数と生徒数の推移

文部科学省 資料

### 中学校

